



ユーザの追加

Cisco CallManager Bulk Administration (BAT) を使用して、Cisco CallManager データベースで新しいユーザのグループを追加し、ユーザを電話機や他の IP テレフォニー デバイスに関連付けることができます。



(注)

企業ディレクトリを使用し、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 同期を有効にしている (Cisco CallManager Administration で、**System > LDAP > LDAP System** の順に選択している) 場合、BAT を使用してユーザを挿入、更新、または削除できません。LDAP の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド 5.0』を参照してください。

この章では、ユーザの一括処理について説明します。

次のトピックでは、ユーザ レコードを管理する方法について説明します。また、電話機とユーザ、または CTI ポートとユーザ レコードなどの、Cisco CallManager LDAP 内のユーザの組み合わせを一括管理する方法について説明します。

- [ユーザの追加 \(P.14-2\)](#)
- [ユーザ レコードのエクスポート \(P.19-1\)](#)
- [ユーザ レポートの生成 \(P.21-2\)](#)

ユーザの追加

複数のユーザを Cisco CallManager LDAP Directory に一括して追加する手順は、次のとおりです。

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、追加するユーザごとに個々の値を定義します。
 - － 詳細については、[P.14-2](#) の「[BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成](#)」を参照してください。
 - － ユーザ用のテキストベース CSV データ ファイルの作成方法については、[P.A-8](#) の「[ユーザ用のテキストベース CSV ファイルの作成](#)」を参照してください。
2. BAT を使用して、ユーザを Cisco CallManager ディレクトリに挿入します。詳細については、[P.16-1](#) の「[Cisco CallManager へのユーザの挿入](#)」を参照してください。



(注) 追加するユーザに Cisco IP SoftPhone などの CTI ポートが必要とするアプリケーションがある場合、BAT を使用して CTI ポートを既存のユーザに関連付けられます。

その他の項目

詳細については、[P.14-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成

Cisco CallManager ディレクトリに新しいユーザを追加するために、詳細を BAT スプレッドシートに記述し、それを CSV データ ファイルに変換できます。

BAT スプレッドシートのインストール方法と使用方法については、[P.1-9](#) の「[BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法](#)」を参照してください。

新しいユーザを一括して追加するための CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、**BAT.xlt** ファイルを検索し、それをダブルクリックします。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、**Enable Macros** ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** ユーザを追加するには、スプレッドシートの下部にある **Users** タブをクリックします。
- ステップ 4** すべての必須フィールド、および該当するオプションフィールドに値を入力します。各カラムの見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須かオプションかを指定しています。

各行に、[表 14-1](#) で説明されている情報を指定します。ユーザが複数のデバイスを持つ場合、デバイス名フィールドは各デバイスに 1 つずつ設定します。

表 14-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明


フィールド	説明
First Name	電話機ユーザの名を 50 文字以内で入力します。
Middle Name	電話機ユーザのミドルネームを 50 文字以内で入力します。
Last Name	電話機ユーザの姓を 50 文字以内で入力します。
User ID	電話機ユーザのユーザ ID を 1 ～ 30 文字で入力します。
Password	<p>Cisco IP Phone Configuration ウィンドウへのアクセス時にユーザが使用するパスワードを、20 文字以内で入力します。</p> <p>パスワードは、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して指定する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別のパスワードを適用する場合は、CSV データ ファイルでパスワード情報を指定してください。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、BAT 内でユーザを挿入するときにデフォルトのパスワードを設定します。</p>
Manager User ID	電話機ユーザのマネージャのユーザ ID を 30 文字以内で入力します。
Department	電話機ユーザの所属部門番号を 30 文字以内で入力します。
PIN	<p>エクステンション モビリティで使用される Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を 20 桁以内の数値で入力します。</p> <p>PIN は、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して入力する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別の PIN を適用する場合は、CSV データ ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザが使用できるデフォルト PIN を使用するには、BAT にユーザを挿入するときにデフォルト PIN を指定します。</p>
User Device Profile	このユーザとデバイス用のユーザ デバイス プロファイルを、50 文字以内で入力します。ユーザ デバイス プロファイルは、BAT に表示される Cisco CallManager Administration 内の既存の UDP のリストから選択できます。
User Locale	このユーザに関連付ける言語と国/地域のセットを入力します。この選択内容によって、言語やフォントを含むロケール属性のどれをこのユーザに適用するか、および Cisco CallManager のユーザ ウィンドウと電話機をどの言語で表示するかが決まります。
Controlled Device Name1	<p>このユーザに関連付ける電話機またはデバイスの名前を 50 文字以内で入力します。</p> <p> (注) スプレッドシートの右端の Number of Controlled Devices フィールドをゼロより大きい数に設定すると、Controlled Device Name フィールドが表示されます。</p>
Telephone Number	電話機のプライマリ内線（通常は、回線 1）の電話番号を 50 桁以内で入力します。

表 14-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)




フィールド	説明
Primary Extension	このフィールドは、ユーザが追加され、ユーザのプライマリ電話番号が設定された後に表示されます。デバイスをユーザに割り当てる場合は、プライマリ回線を選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。
Associated PC	このフィールドは、Cisco SoftPhone および Cisco CallManager Attendant Console のユーザに必須のフィールドであり、ユーザが追加されると表示されます。
ICD Extension	ドロップダウンリストボックスから、このエンドユーザの ICD 内線を選択します。
Mail ID	Cisco CallManager Administration Release 5.0 (1) には、この説明があります。
Controlled Device Name 2	<p>このユーザに関連付ける追加の電話機の名前を 50 文字以内で入力します。</p> <p> (注) スプレッドシートの右端の Number of Controlled Devices フィールドをゼロより大きい数に設定すると、Controlled Device Name フィールドが表示されます。</p> <p> (注) まず、Controlled Device Name1 フィールドに値を入力してから Controlled Device Name エントリを追加する必要があります。</p>
Presence Group	<p>電話番号、プレゼンス エンティティのステータスを監視するプレゼンス グループを入力します。</p> <p>プレゼンス機能については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。</p>
SUBSCRIBE Calling Search Space	<p>Cisco CallManager Administration で設定したすべてのコーリングサーチ スペースが、SUBSCRIBE Calling Search Space ドロップダウンリストボックスに表示されます。</p> <p>SUBSCRIBE Calling Search Space は、エンドユーザからのプレゼンス登録要求を Cisco CallManager がルーティングする方法を決定します。特にこの目的のためにコーリングサーチ スペースを設定するには、他のすべてのコーリングサーチ スペースと同様にコーリングサーチ スペースを設定します (Call Routing > Class Control > Calling Search Space)。</p> <p>コーリングサーチ スペースの設定方法については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。</p>

表 14-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Digest Credentials	SIP 電話機にダイジェスト認証を設定すると、電話機が Cisco CallManager に SIP 要求を送信するたびに、Cisco CallManager が電話機の身元を確認します。このフィールドに入力されたダイジェスト資格情報は、Phone Configuration ウィンドウでダイジェストユーザを選択したときに、電話機に関連付けられます。 このフィールドには、英数字の文字列を入力します。 ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。
User Group	ユーザが属するユーザ グループを入力します。  (注) スプレッドシートの右端の Number of User Groups フィールドをゼロより大きい数に設定すると、User Group フィールドが表示されます。

ステップ 5 新しいユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、**Add More Devices** ボタンをクリックします。



(注) CTI ポート、ATA ポート、および H.323 クライアントなど、すべてのデバイスをユーザに関連付けることができます。



(注) BAT を使用して、自動生成されたデバイス プロファイルを新しいユーザに関連付けるために、BAT 管理者は、xlt の User Device Profile カラムに ADP 名を入力することができます。

ステップ 6 **Export to BAT Format** をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDataFiles に保存されます。または、Browse を使用してファイルを別の既存フォルダに保存できます。ファイル名は次のとおりです。

```
<tabname>-<timestamp>.txt
```

ここで、<tabname> は、作成した入力ファイルのタイプ (たとえば、phones) を表し、<timestamp> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポートするときに、そのフィールドエントリは二重引用符で囲まれます。

スプレッドシートに空白行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。空白行の後に入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

CSV データ ファイルを Cisco CallManager の最初のノードのデータベース サーバにアップロードして、BAT がデータ ファイルにアクセスできるようにする必要があります。詳細については、[第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」](#)を参照してください。



(注)

エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT 内の Insert Users ウィンドウで、**View Sample File** へのリンクをクリックしてください。

その他の項目

詳細については、[P.14-6 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [ユーザの追加 \(P.14-2\)](#)
- [ユーザ レコードのエクスポート \(P.19-1\)](#)
- [ユーザ レポートの生成 \(P.21-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)